

結婚生活も、恋人との時間も、
このままでいい。そう思った——

綿子と夫・文則の関係は冷め切っていた。綿子は友人の紹介で知り合った木村とも頻りに会うようになっていたが、あるとき木村は綿子の目の前で事故に遭い、帰らぬ人になってしまう。心の支えとなっていた木村の死を受け入れることができないまま変わらぬ日常を過ごす綿子は、木村との思い出の地をたどっていく……。ともに暮らしながらもすれ違いの続く夫と、優しく穏やかな時間をくれた恋人。どちらにもよりかかることができず、揺れる心を抱えた彼女はある行動に出る——本音と建て前、優しさと偽善、相反する感情が静かに渦巻き続ける物語の後、観た者は「ほつれる」に込められた本当の意味を考えずにはられない。

主演：門脇麦×監督・脚本：加藤拓也
気鋭の演出家が魅せる圧巻の脚本力と
実力派俳優たちの競演で織り成される、
緊迫感あふれる84分。

主演を務めるのは話題作への出演が続き、圧倒的な存在感をみせる実力派俳優・門脇麦。揺れる気持ちを抱える主人公・綿子の心の機微を繊細に演じ上げる。綿子の夫・文則役には、舞台・映画・ドラマとマルチに活躍する田村健太郎。さらに、その存在が大きな転回点となる男・木村を染谷将太、綿子の親友・英梨を黒木華が演じ、絡みあう深甚な人間模様を描き出す。

監督は、第30回読売演劇大賞優秀演出家賞、第67回岸田國士戯曲賞を受賞するなど演劇界で注目を集める気鋭の演出家・加藤拓也。第10回市川森一脚本賞を受賞した「きれいのくに」(21/NHK)をはじめテレビドラマの脚本も手掛ける加藤が、初長編監督映画「わたし達はおとな」(22)を経て、そのリアリティ溢れる台詞まわしで観客の心を揺さぶる、新たな人間ドラマの傑作を生み出した。

ほつれる

門脇麦
田村健太郎 黒木華 古館寛治
安藤聖 佐藤ケイ 金子岳憲 秋元龍太郎 安川まり
染谷将太
監督・脚本 | 加藤拓也(「わたし達はおとな」)
音楽 | 石橋英子

製作|映画「ほつれる」製作委員会、コム・ダ・シネマ 製作総務|メーテレ、ビクター・エント
助成|文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会 ●テレビ
製作プロダクション|アイランドメディア・エース 監製|ビターズ・エッジ
2023年・日本・フランス / カラー / 11:37 / DCP / 5.1ch / 84分 / 13歳

© 2023「ほつれる」製作委員会&COMME DES CINEMAS

bitters.co.jp/hotsureru/
@hotsureru_movie



9月8日(金) 全国ロードショー

ビターズ
カード
¥1,500発売中

彼女にはなぜ、夫ではない「恋人」が必要だったのか？
2人の男の間で揺れ動く心と、夫婦の真実が明かされていく衝撃の84分。

見ないようにしてた、全部。

主演：門脇麦 × 監督・脚本：加藤拓也

岸田龍士監製

ほつれる



門脇麦

田村健太郎 黒木華 古館寛治

安藤聖 佐藤ケイ 金子岳憲 秋元龍太郎 安川まり

染谷将太

監督・脚本 | 加藤拓也 (『わたし達はおとな』)

音楽 | 石橋英子

エグゼクティブプロデューサー | 松岡雄浩 定井勇二

チーフプロデューサー | 藤部保彦 プロデューサー | 松岡達矢 宮崎慎也 薄田正道

撮影 | 中島竜太 照明 | 高井大樹 録音 | 加藤大和 加藤宇 美術 | 宮守由衣 装飾 | 前原敬恵介

編集 | 日下部元孝 シルヴィー・ラジエ スタイル | 藤本阿美子 ヘアメイク | 近藤美香 助監督 | 鹿川裕史 制作担当 | 奥田新一

製作 | 映画『ほつれる』製作委員会、コム・デ・シネマ 製作総割 | スター・ビターズ・エント

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 シネマ

制作プロダクション | フィルムメイカース 配給 | ビターズ・エント

2023年 日本・フランス カラー 1:1.37 DCP 5.1ch 84分 (S)

©2023 ほつれる | 製作委員会 & COMME DES CINEMAS

bitters.co.jp/hotsureru/

